

# 12月定例議会

# 行政報告 (1)

平成30年12月定例議会は、12月11日に開会し、21日までの会期中に開かれました。議会初日には、行政報告、上程された各議案の大綱質疑、また、13日と14日には一般質問が行われました。17日からは、各常任委員会で付託された議案を審査し、21日の最終日に採決が行われました。

12月定例議会の行政報告の概要についてお知らせします。

## 総務部関係

### ■総務課

平成30年度職員採用試験は、大学卒業程度一般行政2人、高校卒業程度一般行政4人、土木技師1人を合格者として告示しました。

10月6日から7日にかけて秋田県沖を通過した台風25号に伴う暴風により、市内では市道等への倒木の被害が5件発生しましたが、同日中に復旧しています。

東北地方の災害対応能力向上を目的とした「みちのくALERT2018」が11月11日に開催され、本市では大館能代空港における物資輸送拠点機能の検証訓練が、自衛隊空路・陸路輸送班、東北方面総監部、警察、空港、市関係者等80人を超える参加者のもと行われました。

防災ラジオは、事業所を除く8181世帯からの配布申し込みがあり、昨年度の先行配布と併せ8801世帯、普及率は69・7%となる見込みです。

### ■総合政策課

秋田流教育・子育て体験ツアーを10月6日から8日にかけて、市内各所を会場に実施し、地方移住を検討している首都圏の親子3組7人が参加しました。参加者は、教育環境や自然に触れたほか、先輩移住者との交流を通じて北秋田暮らしへの理解を深めました。

第31回東京鷹巣会総会・懇親会が10月14日に東京都で開催され、約170人が参加のもと多彩な催しのほか、これまでの歴史や思い出を振り返りながら、故郷談義で大いに盛り上がりました。

国立市・北秋田市友好交流都市協定締結式を、10月18日に北秋の杜公園センターハウスで行いました。今後は両市間における文化、教育、経済、観光など様々な分野において交流を発展させていく予定です。



▲さらなる交流の輪を広げていくことを誓った国立市・北秋田市友好交流都市協定締結式

■内陸線再生支援室  
第20回あきた南北ジュニア強化サッカー交流大会が、9月30日に鷹巣陸上競技場で行われ、県南北の9チームによる熱戦が展開されました。秋田内陸線阿仁のごつつおまつりが、10月20日に阿仁庁舎前駐車場を会場に開催され、内陸線沿線の名物や旬の食が「ごつつお屋台」として出店したほか、ステージでは太鼓や踊り、ヒーローショーなど9組の催しが披露されるなど、会場は訪れた1500人を超える来場者で大いにぎわいました。

## 財務部関係

### ■財政課

平成30年8月1日から10月31日までの工事等発注状況（500万円以上）は42件、契約額は7億851万円です。

市役所本庁舎1階フロアの窓口カウンタを刷新しました。新たに設置したカウンタは、一部を除き、イスに座ったまま書類を記載しやすいようローカウンタを採用したほか、市民生活部のフロアについては、利用される方の利便性を考慮し、配置を変更しました。また、本庁舎及び森吉庁舎に配置している市民バスを、それぞれ乗車定員29人の中型バスに刷新しました。

## 市民生活部関係

### ■生活課

古着・古布の無料回収を、11月11日に市民ふれあいプラザと森吉庁舎の2か所で実施しました。今年度は回収場所を増やしたほか、水銀製品の回収も行ったこともあり、昨年より79世帯多い213世帯から持ち込みがありました。

秋の全国交通安全運動が9月21日から30日まで実施されました。運動初日には北秋の杜公園で、総決起集会と車両の交通パレードが行われ、交通事故防止を呼び掛けました。

男女共同参画社会づくり講座が、10月30日に森吉コミュニティセンターで行われ、市民約50人が参加し「人の輪でつなぐ地域といのち」をテーマに理解を深めました。



▲防災について考えた男女共同参画社会づくり講座

### ■市民課

10月末の個人番号カードの申請枚数は3151枚、交付枚数は2595枚となっています。また、通知カードを受け渡しできずに市が保管している件数は、115件です。

ハローキティデザイン記念証の交付枚数は、10月末で出生記念証が81枚、結婚記念証が35枚の計116枚を交付しています。

10月末の国民健康保険の加入世帯数は4878世帯、被保険者数は7229人で、そのうち前期高齢者は4098人です。

## 健康福祉部関係

### ■福祉課

北秋田市民生委員児童委員大会が、9月18日に交流センターで開催され、高齢者の災害支援について講演が行われました。

児童虐待防止月間およびDV防止推進月間キャンペーンを、11月15日に鷹巣地区のショッピングセンター2か所で行いました。

### ■高齢福祉課

敬老式が9月5日から16日まで市内10か所で行われ、対象者7762人のうち1895人が参加し、地区

婦人会や自治会、小学校、保育園の協力のもと、長寿を祝いました。

10月末の介護保険事業の要支援・要介護認定者数は2738人で、そのうちサービス受給者が2301人、認定者に対する受給率は84・04%です。

認知症サポーター養成講座を4月から10月まで計4回開催し、受講した205人が認知症に対する正しい知識と理解を深めました。

### ■医療健康課

健康増進事業は、10月9日に「四季美ウオーク」を実施し、67人が参加し、健康増進を図りました。

心の健康づくり事業は、9月14日に内陸線を利用した「心の絆号」に43人が参加し、笑いヨガやギター演奏による合唱などで交流しました。

成人検診事業は、10月21日に「ホリデー検診」として特定健診及びがん検診を実施しました。検診前には電話や通知による受診勧奨を行い、検診受診を促しています。

食育推進事業は、11月17日に「食育フェスタ」を市民ふれあいプラザで開催し「食でつくるジュニアアスリートからだ」と題して松本範子さんが特別講演を行い、参加した市民140人が食育への理解を深めました。また、むし歯のない5歳児の表彰と75歳以上のよい歯の認定式も

併せて行いました。



▲管理栄養士による特別公演を通して食への関心を高めた食育フェスタ

第2回北秋田市民病院運営連絡協議会が、11月29日に開催され、市民からの要望等への対応や指定管理内容についての協議のほか、上期の収支状況の報告、新公立病院改革プランの点検評価などが協議されました。

### ■診療所

8月から10月までの市立3診療所の外来患者数は次のとおりです。  
阿仁診療所は、内科2092人で前年同期比7人増、外科2368人で同81人減、歯科736人で同86人の減です。合川診療所は1987人で前年同期比316人の減です。米内沢診療所は、内科3481人で前年同期比126人減、小児科373人で同79人減、整形外科757人で同32人減、脳血管外科145人で同71人減、心臓血管外科20人で同6人の増です。